

～資金提供と社員のボランティア参加により、市民団体の環境活動を支援～

第8回『TOTO水環境基金』助成団体を決定 20団体・計1,007万円を助成

TOTOグループでは、環境ビジョン「TOTO GREEN CHALLENGE」*を掲げ、従来からの環境活動をさらに加速しています。具体的には、「商品・サービス」「ものづくり」「社会貢献」の3つの軸と、そのベースとなる「ひとつづくり」において活動を展開しており、その社会貢献活動の一環として、**第8回目となる「TOTO 水環境基金」の助成団体を決定しました。**

TOTO 水環境基金は、社会貢献・地域共生活動の一環で 2005 年に設立し、「水環境の再生・保全」に関する活動を行う多くの市民団体を助成してきました。第 8 回目となる今回は、2012 年 8 月 1 日(水)～9 月 30 日(日)の間に募集を行い、87 団体よりご応募いただきました。助成団体を決定するにあたっては、TOTO グループ各事業所のボランティア推進担当者が構成する「水環境基金選考委員会」を設置し、書類選考の上、現地に赴いて各団体へのヒアリングを実施。選考のポイントとして、**環境貢献度、活動の継続性の他、グループ社員が参加することで活動を支援できるかなどの観点から、厳正なる選考を重ねました。**その結果、**20 団体に 1,007 万円を助成することを決定いたしました。**助成期間は 2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日の1年間です。これにより、**過去 8 回で通算 133 団体に対して、1 億 5,741 万円の助成を行ったこととなります。**



【各団体へのヒアリングの様子】

TOTO グループでは、地球環境に貢献するボランティア活動を「グリーンボランティア」と称し、グループ社員の参加を促進しています。今年度もすでに延べ 27,000 人がグリーンボランティアに参加。今回決定した水環境基金助成団体の活動にも、最寄りの事業所の社員が中心となって積極的にボランティア参加していく予定です。環境保全活動への参加を通じて、環境意識の高いひとつづくりを進めるとともに、地域との共生を目指してまいります。

■第8回「TOTO水環境基金」助成団体一覧

	プロジェクト名	団体名	活動地域	活動内容
1	当別の22世紀の森づくり	NPO法人 森をたてようネットワー ク	北海道	2003年から緑化に取り組んできた「当別22世紀の森」において、多くの市民や子どもたちとともに森林の保全、森づくり活動や自然観察会を行うことにより、広く一般市民が自然に親しむ機会を提供し、自然と共生する感性と知識を育むことを目指す。
2	御前山ビオトープ希少動植物の育成活動と御前山ダム周辺環境整備	御前山ダム環境センタ ー	茨城県	御前山ダム周辺の希少動植物の保全・育成活動を通して、生物の多様性を学ぶ。エノキ・ヤマザクラの育成や山林の間伐活動等を通して、森林の多面的機能を認識する。これらの活動を通して、地域の活性化、地域住民と県内外のボランティアとの交流を図り、自然の大切さを御前山小中学生へ継承していく。
3	ビオトープ15年目のほたるの里の生き物マップづくり	八千代市ほたるの里 づくり実行委員会	千葉県	1998年から水辺環境の整備を行っている「ほたるの里」において、専門家、TOTO社員、地域の親子、会員などで四季ごとに生物調査を実施し、里の生き物マップを作る。マップを活用して、里の生物多様性が豊かになるための整備作業を進める。
4	白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都	一級河川・白子川の源流を活動拠点として、湧水と水辺環境の保全活動を開始して12年目。地元の学校、子ども、区民、商店に川の動植物が加わって、「みんなの白子川」という思いを共有できる湧き水の町づくりを目指して、川清掃や生き物調査等を定期的に行う。

5	西なぎさ発:東京里海エイド	DEXTE-K	東京都	葛西海浜公園西なぎさにおいて、公園を利用する人たちに心地よく使用していただくとともに、西なぎさに生息する多様な海洋生物・鳥類の漂流ゴミによる被害を最小限にとどめることを目的として、春から秋にかけて西なぎさに漂着するゴミの清掃活動を実施する。
6	多摩川で遊ぼう (美化活動・自然体験・川の安全教室)	NPO法人 おさかなポストの会	神奈川県	多摩川周辺の美化活動、生物調査、アユ祭り、水辺の安全教室などを実施し、その体験を通じて、多くの人が多摩川の現状を学び、川と地域住民の関係を变えることで、多摩川の環境改善につなげる。
7	水と緑の輝く里山	金山里山の会	富山県	子どもや親子の環境教育の場として、河川の水質調査、水生生物調査、ホテル観覧会、池の外來種駆除などの環境保全・環境啓発活動を実施する。また、水源地である里山の原生林化している涵養林を伐採することにより、豊かな水循環の里山をつくる。
8	魚つき林の再生および地域の水環境保全歴史探究	一般社団法人 海っ子の森	三重県	三重県東紀州地域を中心に、山や川や海の保全活動を地域住民とともに行う。特に「魚つき林」の重要性に鑑み、海洋環境に有用な広葉樹の森の保全に取り組む。地域の環境保全の知恵と工夫の歴史を地元の語り部を通して学ぶ。
9	家棟川の生態回廊の再生 ービワマスが遡上する川にー	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県	野洲市の8割の川が合流して琵琶湖に注ぐ家棟川で、市民・子どもに参加を呼びかけ、水源の山、森、川、田畑、びわ湖を一体とした環境保全活動を実践する。自然と親しむ市民を増やし、自然環境への関心を高めていく。
10	人と自然の“輪”プロジェクト	NPO法人 環境教育技術振興会	大阪府	せんなん里海公園は、陸ガニの生息地になっており、海岸には藻場が形成され、多くの魚介類が生息している。この特徴を生かし、アマモの移植や自然観察会などの活動を通じて、陸と海の連続性の重要性、人と自然との関わりの大切さなどを多くの市民に体感してもらい、自然との望ましい接し方を次世代へ広げていく。
11	海浜公園海辺のアオサ回収、堆肥化プロジェクト	高砂海浜公園海辺の 保全集いの会	兵庫県	東播磨地域の海岸線は昔から白砂青松で名高い景勝地だが、現在は臨海工業地帯になっており、人工的に造成された「高砂海浜公園」はアオサの大量発生で死の海と化している。そこで、美しい海岸を蘇らせるために、アオサを回収し堆肥化する活動を行う。
12	久保・肱川源流 水でつながる活動	久保・肱川源流を想う 会	愛媛県	愛媛県を流れ瀬戸内海に注ぐ肱川の源流で、水の保全活動や自然を通して地域住民と子どもたちが交流を深める活動を展開している。源流から流れる美しい水が保てるように、源流の保全・清掃活動、水質調査などを行い、地域間の交流、故郷の良さを感じることが出来る活動も実施していく。
13	大羽谷川流域の環境美化活動	大羽谷川流域の環境 を考える会	広島県	生活様式の変化によって荒れている里山を整備し、水源近くにまで登れるようにした結果、自然に親しむ人の姿が里山に戻ってきている。里山の手入れなどの活動に都市に住む人たちにも参加してもらうことによって、里山の有用性を考えていく。
14	子ども森林ボランティア養成講座 「もりメイトキッズ」	もりメイト倶楽部 Hiroshima	広島県	森づくり活動体験を通して豊かな心と森を育てていくために、手つかずで荒れた森を環境教育の場として活用し、年4回シリーズで森林整備体験、森の探検、クラフトなどを行う。それにより環境問題に当事者意識を持つ子どもたちを育成する。
15	水と緑の環境美化プロジェクト	東朽網校区まちづくり 協議会	福岡県	大人から子どもまで一緒に学べる体験型学習として、水晶山登山、昭和田清掃と植樹、朽網川河口清掃、カブトガニ産卵観察会などを実施する。山から海へとつながる豊かな自然環境が守られ、次世代へ継承することの大切さについて共感できる環境意識の高い人づくりを行う。
16	ホテル舞う旧長崎街道を目指して ～ホテルの飛翔域の拡大～	香月・黒川ほたるを守る 会	福岡県	1992年から続けてきた清掃活動により、黒川には無数のホテルが飛び交うようになっている。草刈作業や水路整備を継続的に実施することで、子どもたちが楽しく遊べる親水空間を創出し、黒川の水質向上・環境保全地域の拡大に努める。それにより、地域活性化や次世代育成にもつなげる。
17	めざせ！紫川を日本一の清流にするプロジェクト2013～ “山”TO“水”TO“私たち中谷”水源再生事業～	中谷地区まちづくり協 議会	福岡県	北九州市の水がめ「鱒淵ダム」、市のシンボル「紫川」の水環境の保全(浄化・再生)活動を通じて、美しかった紫川や中谷の原風景を再生するとともに、環境に対する意識の醸成を図る。

18	冷川のホタルと親しむ会	冷川のホタルと親しむ会	大分県	温泉湧水量全国一の温泉地にあつて温泉水の流れ込まない市内唯一の河川「冷川」の自然環境を保全し、生息する魚類・小生物の生育環境を守り、中でも希少となっているゲンジボタルの育成に努める。同時に、活動を通して地域づくりや未来を担う子どもたちの環境教育を推進する。
19	氷川ダム湖かき殻まつり	次世代のためにがんばる会	熊本県	生活排水問題に悩むダム湖で、官学民産の共同企画でかき殻を使用した水質浄化作戦を行う。さらに、地域住民に水環境の重要性を意識してもらうために、ダム湖周辺の管理が行き届かない竹を使った竹炭作りの体験授業、野鳥観察を兼ねた環境共生学習会なども行う。
20	飲料水及び持続可能な農業のための灌漑用水支援事業	NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	フィリピン	1991年のフィリピン・ピナツボ山噴火により故郷を追われ、新しい土地に移り住んだ先住民のアエタ族コミュニティの持続可能な地域づくりを支援する。具体的には、アエタ族コミュニティにおいて、手動式汲み上げポンプの設置、灌漑用水システムの設置、持続可能な農業の研修を行うとともに、日本国内で水の大切さを伝える活動を行う。

ご参考: 各団体の詳しい活動内容に関しては、2013年6月にTOTOホームページ「TOTO 水環境基金」内で公開する予定です。

<http://www.toto.co.jp/company/environment/social/mizukikin/index.htm>

■第7回助成団体とTOTOグループ社員との協働の様子



団体名: NPO 法人比企自然学校
活動地域: 埼玉県東松山市
プロジェクト名: 児沢の森・田んぼの学校 開校プロジェクト

<参加者コメント>

田んぼの学校の稲刈りに参加しました。大半のメンバーが稲刈り初体験ということで悪戦苦闘しましたが、無事に天日干しまで終わることができました。休耕田だった土地が人々の手によって再生され、たくさんの米が実るという過程を目の当たりにし、あらためて里山環境保全が重要であることを認識しました。



団体名: 景観ボランティア明日香
活動地域: 奈良県明日香村
プロジェクト名: 国際作業キャンプによる飛鳥川の景観修復プロジェクト

<参加者コメント>

国際ワーキングホリデーに5名で参加し、聖徳太子が生誕したとされる橘寺周辺の飛鳥川に沿った竹やぶで、竹の伐採と伐採した竹を集積場に運ぶ作業を行いました。夜には世代間交流会もあり、「明日香大好き人間」の輪を広げることができました。

(※1)環境ビジョン 「TOTO GREEN CHALLENGE」

TOTO は創立 100 周年を迎える 2017 年に向け、「商品・サービス」「ものづくり」「社会貢献」の 3 つの軸と、それらを支える「ひとづくり」で、新しい環境貢献目標にチャレンジします。

詳しくは下記 URL をご覧ください

<http://www.toto.co.jp/greenchallenge/>



以上に関するお問い合わせは下記までお願いします。

<TOTO 広報部>

本社広報グループ 担当:坂村、山崎

北九州市小倉北区中島2-1-1 TEL:093(951)2901

東京広報グループ 担当:藤田

東京都港区虎ノ門1-1-28 TEL:03(3595)9422

<お客様からの問合せ先> お客様相談室 TEL:0120-03-1010

<TOTOホームページ> <http://www.toto.co.jp/>

<水まわりのまめ知識「ティドビット」> <http://www.toto.co.jp/tips/tidbit/>

このニュースリリースは、北九州経済金融記者クラブに投函しているほか、TOTOホームページでもご覧いただけます。